

文化学部交換留学生

氏名： 許 筑芳 （きよ ちくほう）

国籍： 台湾



1. 高知県立大学に留学してどう思ったか
チューターだけではなく、高知県立大学の先生や学生たちは本当に優しく、親切な人でした。日本人の学生たちと同じ授業を受けている時、私が留学生だと分かって、積極的に声は掛けてくれないけど、私が質問や分からないことがある時は、皆さんに聞けば、本当に親切で分かりやすく答えてくれます。そして、どんどん友達になれます。この点は、本当に感謝しています。さらに、チューターさんたちは、留学生たちにただ親切だけでなく、よく色々なイベントを考えていて、ここの生活を体験させてくれます。例えば、バスハイクで四国の四県へほぼ行きました。他にも、クリスマスパーティーや歓迎会をやってくれました。そして、個人的に一緒においしい料理屋さんに行ったり、映画を見に行ったりしました。チューターさん達と一緒にいる時間は本当に楽しかったです。
2. どのような授業を受けて、どう思っているか
前期は英語、日本語、ドイツ語、地域学概論、基礎古典などの授業を受けました。後期は景観文化論、住まいと健康と安全と生物などの授業を受けました。あと、高西先生のお手伝いとして、中国語に関係ある授業も受けました。最初は先生たちの日本語が早くて、ときどき土佐弁も入っていて、あまり聞き取れなかったけれど、長く時間が立つと、先生たちの発音やししゃべり方にもどんどん慣れてきて、授業に対しての理解も増えてきました。授業内容が多く分かると、徐々に新しい知識を学びました。本当に楽しかったです。
3. 生活面ではどうか
県立大学が提供した宿舎は本当に住みやすかったと思います。必要な家具も全部揃えていて、料金もあまり高くないです。自転車も学校から借りられて、本当に便利です。私は他の大学に留学している友達がいる、彼女たちが留学している時、部屋に何もなくて、自分で買わなければいけない、そして、自転車も学校から借りられなくて、自分で買わなければならないです。しかも、留学が終わる時、自分で買った家具や自転車などを自分で処分しなければいけないです。すごく不便だと思います。
4. 友達との関係
高知県立大学には4年間留学している中国からの留学生がいて、最初は彼らと友達になって、中国語がしゃべれる人がいたので、安心しました。そして、学校へ行って、サークルに入って、日本人の友達もだんだんに増えていきました。皆は優しく、面白いです。よく一緒に遊んだりしています。
5. 高知のこと
高知は自然がいっぱいで、住民も優しいので、私が老人になると理想の住みたいところだと思いますね。(笑) 毎日、寮から学校へ行く時、必ず鏡川を通過します。毎回、橋から鏡川を見る時、「きれいな～」と感じました。夏でも冬でも、その川はいつもきれいで鏡のように流れています。時々悩みや不愉快な時、鏡川を沿って散歩します。そして、その景色を見ながら、気持ちもどんどん良くなります。他にも、木曜市と日曜市へ買い物に行くのが好きです。そこで売っている物がおいしくて、しかも安くて、私たちのようなお金をあまり持っていない学生にとっては本当にいい所だと思います。高知は遊べるところが本気で言うともあまりないけれど、自然と一緒に過ごせてゆっくりと生活できる場所だと思います。